



カジノ業者から金貰ったから・・・

「数十年に一度の豪雨」との気象庁の予報通り、西日本はものすごい被害にあった。

「数十年に一度」とは

殆どの人に経験が無いということ。従来の経験の範囲内の対策では

足りなくなる。「すわ一大事。どういう対策が必要か? どういう立法が必要か。政府の全力を挙げて対策を」と

云わないのが、流石にアベさんですね。議員宿舎で「赤坂自民亭」として大宴会。

ここで「麻原らに死刑執行すれば、マスコミは森加計を忘れてオウムに流れる」と上川陽子法相は踏んだ?

カジノに熱中

パーティ券として米国のカジノ業者から献金を受けた自民中枢はIR法案を通そうと、災害そっちのけ。大臣

の意向を忖度し、国土交通省幹部は国会のIR対策に熱中。「災害なんて気にしていられないよ・・・」ですかね?

その一方で国民は

青年達が洪水に浸かった町を力一杯救援に回った様子が報道されている。

屋根の上で助けを求めた人たち百二十人を助けた青年。水上バイクで十五時間走り続けて助け「全身がつった」という。

四時間も手こぎボートで救助に回り熱中症で倒れた青年。彼の後、ボートを漕いだ青年達。

他にも複数のボートが名も告げずに救援に回った。

政権与党には愛想が尽きるが、若者には未来を託せますね。あなたはどうか思われますか?

旧街道の街並み

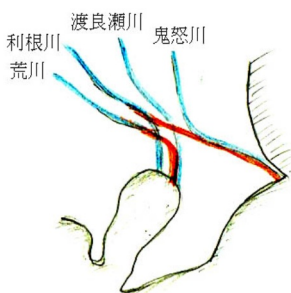
千葉県流山市流山ながれやまにて

二〇一八年七月



昔 大雨で渡良瀬川の濁流が上州赤城山の麓を削りこの地を襲った。水が引いたら高さ十五mの山が残った。山が流れて来たので流山との地名になった。山には赤城神社がある。

左図の青い線のように、昔、渡良瀬川、利根川、荒川は東京湾に流れていた。徳川時代の初め、江戸を洪水から守る為、赤い線のように銚子に向かうよう流れを改修。その後も工事が進められ渡良瀬川は荒川になった。



流山駅と江戸川の間には旧街道がある。古くからのどっしりとした構えの建物の間に新しい家が建っていた。

